



窓口MPN端末  
での処理

### (3) 窓口電子収納分

#### イ. 窓口MPN端末での処理

窓口電子収納にかかる受入店が電子収納対象の受入書類により歳入金等を受入れた場合には、受入後直ちに窓口MPN端末を使用して入力等の処理を行う<sup>①</sup>。ただし、窓口MPN端末の障害等により受入日当日中に処理することができないと見込まれるときは、受入書類の種類に応じて通常分または日銀OCR分として取扱う。

受入金の計理

#### ロ. 受入金の計理

窓口電子収納にかかる受入金は、「日本銀行国庫金電子収納事務取扱手続」の定めるところにより、通常分および日銀OCR分とは別に計理する。

入力結果との照  
合

#### ハ. 受入書類と窓口MPN端末への入力結果との照合

窓口電子収納分として取扱った受入書類の集計金額と窓口MPN端末への入力結果の集計金額とを照合する。なお、受入金の勘定にかかる照合については、電子収納事務にかかる払込店が「日本銀行国庫金電子収納事務取扱手続」の定めるところにより取扱う。

受入書類の保管

#### 二. 受入書類の保管

窓口電子収納分の領収済通知書および領収控については、自店または電子収納事務にかかる払込店が適宜の方法により取まとめて2年間保管する<sup>(注)</sup>。

(注) 窓口電子収納分として取扱った受入書類を通常分または日銀OCR分と一緒に、日本銀行または官庁に送付しないように注意する。

- ① 窓口MPN端末の入力等操作方法については、運営機構が定める仕様書等参照。